



我孫子市立湖北小学校
第6学年・学年便り
2017. 1月号

新年、あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。2016年は各ご家庭いろいろなことがあったと思います。2017年も明るく、楽しい毎日であり、ご健康とご多幸をお祈りします。

さて、3学期が始まりました。3学期はいよいよ卒業式があります。小学校生活のまとめの学期となりました。1日1日を大切に、日頃お世話になっている人や物に感謝をしながら生活できるようにしていきたいと思います。また、寒さが一層厳しくなってきました。子ども達だけでなく、保護者の皆様も体調に気を配りながら生活してください。3学期も担任一同よろしくお願いします。



1月の行事予定

10日	火	始業式 11:30下校	19日	木	集金日 ロング昼休み
11日	水	短縮4時間日課 13:50下校 校内席書大会 集団下校	22日	土	我孫子市新春マラソン
12日	木	給食開始 委員会活動 発育測定	24日	火	短縮40分授業 15:10下校
13日	金	代表委員会 長寿大学交流 第3回漢字検定	25日	水	沼っ子タイム
14日	土	東葛地方家庭科・技術家庭科作品展 (県民プラザ)	26日	木	青空学級 (引継ぎ式) ロング昼休み
			27日	金	避難訓練
16日	月	校内書き初め展 (~20日)			
17日	火	留学生が先生	30日	月	長縄記録会週間 小中一貫の日 (午後) ※
18日	水	クラブ活動	※6年生が、湖北中へ体験・見学に行きます。		

今月の集金は、3000円です。詳しくは裏面を参照してください。

1月の生活目標

- ◎寒さに負けない心と体をつくろう
- 寒い時期の清掃の仕方を工夫しよう
- ・3学期が始まりました。時間を守る、挨拶をするなど生活のリズムを取り戻します。
- ・掃除の仕方をもう一度確認します。



学習予定



<国語> 伊能忠敬	<算数> 平均とちらばり いろいろなグラフ	<社会> 国際理解	<理科> つくる電気ためる電気
<体育> 保健	<音楽> 雅楽	<図工> 卒業制作	<家庭科> わたしたちの生活と環境
<総合学習> 我孫子ユニバーサル都市計画を立てよう			



お知らせとお願い

新学期が始まり間もなく授業が開始します。筆記用具や道具箱の中身の確認を改めてお願いします。3学期には、短縄、習字道具、絵具、彫刻刀を使いますので、そちらの確認も宜しくお願いします。

○**発育測定について** 12日(木)に発育測定を行います。上下体操服で、女子は頭頂部で髪を結ばないよう宜しくお願いします。

○縄跳び練習について

1月から縄跳び練習が始まります。長縄は月・水曜日に練習を行います。短縄練習は金曜日にありますので短縄の準備を宜しくお願いします。

○校内席書会について

11日(水)に校内席書会があります。冬休みの成果を充分に発揮し、素晴らしい作品ができるように頑張らせたいと思います。持ち物は以下の通りとなりますので、忘れ物がないよう宜しくお願いします。また、16日(月)から20日(金)までは、校内書き初め展となっております。ぜひお越しいただき、作品をご覧になってください。

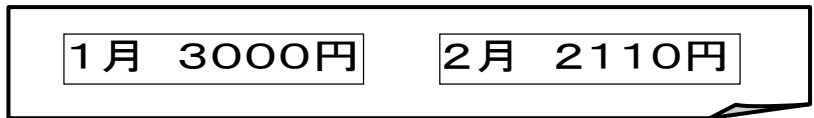
- 墨汁 ○だるま筆 ○小筆 ○書き初め用紙(10枚程) ○下敷き
- ぶんちん ○新聞紙(あれば) ○墨池(またはそれに代わるもの)
- 手本

☆「卒業証書に伴う児童名等についての確認」を配りました。戸籍と同じ漢字を使い、明確に書いてください。

3学期の集金について

ワークテスト（算数・社会・理科）	330×3＝990円
ワークテスト（国語）	280円
漢字ドリル	340円
計算ドリル	340円
理科教材（てこのはたらき）	170円
理科教材（電気の利用）	460円
卒業制作・オルゴール	2,700円
合計	5,110円

3学期の集金 5110円を2回に分けて、集金します。



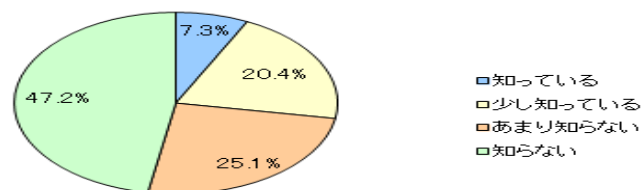
1月の集金は 3000円となります。よろしくお願ひします。

参考：中一ギャップって？ ベネッセより <http://benesse.jp/blog/20111122/p2.html>

■中一ギャップという言葉は中学生の保護者の過半数が「聞いたことがない」と回答

まず、「中一ギャップ」という言葉の意味についてどのくらいのかたが知っているのか伺ってみました。すると、言葉自体を聞いたことがあるかたは半数以下。そして、言葉の意味まで知っているかたは3割以下でした(図1)。

【図1】「中一ギャップ」という言葉の意味をどのくらいご存じですか？



■勉強面では、早く・厳しく・明確に結果が出てくるのが原因？

●英語が入ってくる・教科担任制になる・定期テストがある・定期テストで順位が出るからでは？

これらの点は、たくさんの保護者のかたから寄せられています。小学校でも英語の授業はあるものの、中学校では文法を習いますし、テストの点数や成績もつきます。そして教科ごとに先生が異なるため、授業の進め方やノートのとり方もそれぞれ違いますから、それらに慣れることも必要です。「先生待ってー黒板まだ消さないでー」は中学校では通用しないということでしょう。

●それまでは友達との学力差などが見えないし、感じられなかったが、突然数字化され、順位などが出て自分の実力を知り驚いてしまうのではないかな？

学校によって違いはありますが、定期テストの点数がしっかりつき、そのほかの観点別評価も加わってそれが公立高校入試の合否判定に用いられる内申点に直結する、という地域がたくさんあります。小学校の通知表では「よくできている」「うちの子はできるほうだ」と思っていたところが、定期テストで想像に及ばない結果や順位を知り、ショックを受けるということも少なくありません。

●公立中学校の場合、小学校へ「ここまではきちんとした学習を身につけておいてください」とのお達しがあると聞きました。けれどそれは学校任せのことではなく、家庭でもきちんと確認していかなければならないことだと思います。子どものそのような状況に気付かない親もいるのが問題なのではないのでしょうか？もう中学生になるんだし、ということで勉強のことは細かくは確認せず、学校の勉強も校外学習もお子さま自身に任せて手を離します、というご家庭が増えるのが進級時期でしょう。しかし、小学校から中学校へ変わる時期は小学校段階の学習と子どもが言う時期、着手が違ってくるのか、得意なことは何か、学習習慣などの程度自身について

■心身の成長が著しい一方で忙しく、自由度の減る学校生活が疲れやストレスに？

●毎日制服を着て通い、常に校則が厳然とあり、部活動では厳しい練習・怖い先輩もいる。すべてにおいて優しく守られていた小学校生活と、急に「自立」を求められる中学校生活には、かなりの違いを感じると思う。それらを嬉しく思う子と、違和感のある子とに分かれるのではないかな？

「自分でなんとかする」場面が増える中学校。校則が増え、先輩との上下関係で守るべきルールなども増えます。小学校までの自由さがなくなり「え、こんなことまで細かく決めるの？」と感じる子もいるでしょう。今までなかった緊張のなか、自分で考えて行動する場面が増えて「どうしたら良いのかわからない」ことがストレスになるということでしょう。

●登校手段の違いや、部活の朝練などで早朝から登校しなければならず、疲れがたまりやすい。自分のキャパシティを超えない部活選びや、家族のサポートが必要では

●成長期で、ホルモンバランスの乱れがある時期にも関わらず、塾通いやクラブ活動で忙しく、睡眠不足による体調不良があるような気がします

いざ中学校生活が始まると、体力面で苦労する子は少なくありません。「部活が始まったとたん、ついていけなくて帰宅後すぐ寝てしまう」「眠そうでつらそうな子どもを目の前にして勉強しなさいとはかわいそうで言えない」など、新学期を中心に当サイトの教育相談室でもそういった相談が散見されます。本人がやりたいことに挑戦させてあげたいものですが、本当に練習がきついという部活動はあります。本当にできそうか、その部活動に入ったら、一日・一週間の生活はどのように変わるのかを想像して検討するには家族のサポートも必要でしょう。

は、飲み直を控えましょう。

■人間関係は、部活動のタテ関係・新しい友達で激変。メールやケータイでの付き合い方も気になる点

●部活動が始まって、大幅に環境が変わるので特に人間関係を上手くやれない、コミュニケーション力が不足している子は、まいてしまうのかもしれないと感じています

先輩とのタテ関係は、小学校までは「優しくしてくれる上級生」という関係しかなかったのが、「尊重すべき・自分を指導してくれる存在」に変化します。そこでの差に戸惑うというのは容易に想像がつきますね。また関わる人が増えるため、いろいろな人と付き合い経験が少なかった子は、疲れを感じることもあるようです。

●思春期を迎え親に反発を感じるようになった時の支えとなるのが友人で、そこで気の合う友達と進学を機に離れてしまい、新しい友達ができなかった場合にはかなり深刻な状況になるのでは

子どもたちにとって、「友達」の存在はこの時期グッと大きくなるものです。そこで頼りにすべき「友達関係」を作り直したり一から作り上げたりしていくことをストレスを感じる子もいるでしょう。新しく知る他小学校からの子との人間関係をどう作っていくのか……そして「友達」ができるか……保護者のかたも中学校進学の際、同じようなことを感じたのではないのでしょうか。

●携帯メールによる行き違い

携帯電話を持つ子が増えることから、ケータイメールのやりとりや文面、だれが何をだれに送ったなどのトラブルについての声も寄せられました。中学校に上がったからだということが直接の原因ではありませんが、ケータイを持つ子が増えることで情報が伝わる範囲が広がったり、メールの数が増えたりします。その結果、ケータイにとられる時間やトラブルが目立つようになるということでした。携帯にかかわらず、ネットやメールの使い方が人間関係にも深くかかわってくるため、使い方には注意が必要です。

以上のように、中学生の保護者は中学校生活についていろいろ気付きがあるようです。ギャップの早期発見・早期解決がその後の中学校生活の充実度を決めるものですから、中学校進学を控えたご家庭では、今一度我が子を見つめ直したり、進学先の中学校の情報を集めたりして準備しておくといえましょう。特にお子さまがギャップを感じず、またうまく自分で対処していければそれに越したことはありません。子育てがひと段落する時期ではありませんが、「何かあったときに受け止めて支えになってくれる存在」としての保護者の役割はしっかり果たしてあげたいですね。Benesse教育情報サイトでは、今後も入学準備や、中学校生活等についての情報をお届けしていきます。ご期待ください。